

ふるさと納税事業者勉強会を開催します

ふるさと納税の返礼品を登録してみませんか。

時5月20日(水)

所府中商工会議所

申5月15日(金)までに
二次元コードから



新たに登録を希望する事業者

ふるさと納税の仕組みや返礼品の登録方法など基本的な内容の説明。

時11時～12時

既に登録されている事業者

10月からの制度変更に関する案内や、寄附額を増やすためのポイントの説明。

時13時30分～14時30分

問企画財政課(☎44-9135)

専門家に経営課題を相談してみませんか？

びんご産業支援コーディネーターを派遣

びんご産業支援コーディネーターは、備後地域の企業OBなどを中心とした専門家です。

備後圏域の中小企業者などの抱えるものづくり・経営の諸問題に対し、解決や企業間・産学間のマッチングを図り、活発な創造的事業活動や創業化を推進しています。

相談分野

人材育成、経営、販路開拓、知的財産、安全衛生、計測・制御、品質管理、工程管理、生産技術、商品開発ブランド戦略、マーケティングなど

年間25時間分まで

相談無料



問商工観光課(☎44-9153)

ふちゅう

歴史散歩 Vol.181

江戸時代、上下には「郷宿」という、村役人や農民が代官所や陣屋などで訴訟を行う場合の宿泊施設がありました。上下村に4軒存在していた事が確認されており、そのうちの1軒の「阿字屋」は、上下陣屋の手代下役という役をもち、公的な手続きの文書の作成などを行っていました。その仕事の記録として江戸時代末期に書き残した『御用留』が一昨年、上下の民家で発見されました。

上下歴史文化資料館と上下歴史研究会が解読を行ったところ、この『御用留』には、幕府が長州と戦うための物を取り揃え、必要な場所に送り届けるという、第二次長州戦争時の上下陣屋の役割などが書かれていたことがわかりました。

このたび第一弾として、第二次長州戦争における上下での運輸事業をまとめた冊子『御用留』(一)を刊行しました。

教科書には載っていない「上下地域から見た幕末史」が紐解かれています。ぜひ手に取ってご覧ください。

ごうやど あじや 郷宿「阿字屋」高木家文書『御用留』(一)より
第二次長州戦争における上下での運輸事業

問教育政策課(☎44-9024)



刊行本と『御用留』(原本)

A4版/44ページ 1冊500円
上下歴史文化資料館で好評販売中!